

第1回 姫川水系流域委員会 議事要旨

日時：令和元年12月5日

場所：糸魚川市民会館

1. 概要

姫川水系においては、「姫川水系河川整備計画（国管理区間）」（以下、「整備計画」という。）を平成27年3月に策定した。

整備計画策定から約5年が経過し、その事業が進捗してきたことから、事業の進捗状況や見直し、河川整備に関する新たな視点等に関して、姫川に造詣の深い学識経験を有する者から意見を聴くことを目的として「姫川水系流域委員会」を設立した。

今回、次回の委員会に向けて、整備計画を点検する上での着眼点等について指導、助言をいただいた。

2. 主なご意見

- 洗掘が問題なのであれば、リング法などで最大洗掘深を計測すればよい。ただし、その際は出水流量も合わせて押さえておくこと。
- 姫川水系河川整備計画の点検にあたっては、過去の破堤したような場所や、経験的に洗掘が発生する箇所での整備効果を評価できると良い。
- 投資に対して事業の進捗が悪い場合は、整備計画の見直しも考える必要があるのではないかと。
- 整備計画の実行可能性を含めて議論する際にはコストの視点も必要である。
- 市民の関心度の高い水質汚濁（白濁）の問題についても議論していただきたい。
- 河川環境の整備と保全に配慮すべきことが計画に定められているが、その後どうであったのか。特に、特定外来種が急速に広がっているという日本全国の状態もあり、種の保存法等を踏まえ、希少種等の保全等も必要になってきている。点検の結果を次回にご説明いただきたい。
- 気候変動に伴って、太平洋側ほどではないにしろ、姫川の河口水位も上がる可能性がある。柔軟的に計画の中で対応していく必要はないか。